

-----9月8日-----

※ 今週のアウトルック (9/8~9/12)

先週は、ドル高傾向が金曜日前半までは続いたものの、米国雇用統計の発表を受けて、結果的には金曜日の始値より下落して終了しています。

米国雇用統計の結果が、期待はずれなものとなり、早期金利引き上げ観測の後退、となってこれまで続けていた米ドル買いトレンドに黄色信号が灯った形となりました。

今週は、早期金利引き上げ観測の交代と、NYダウの上昇、日本の改造内閣の金利政策、などを市場がどう解釈するかによって大きく左右されそうです。

先週ドル円は、105円を一気に突破し、米国雇用統計の結果次第では、106円台に突入しそうな勢いで金曜日を迎えていました。

米国雇用統計が思いのほか悪いものであったため、早期金利引き上げ観測が後退し、105円付近で終了しています。

今週は、利益確定売りをこなした後、今後のトレンドをどう判断するかで見方が分かれ、しばらくもみ合いが続くかもしれません。

米ドル円の予想レンジは104円から105.5円です。

ユーロは、ユーロドルが1.31のサポートラインを突破したことで、一気に下落速度に加速がついています。

今週は、米国雇用統計の悪い結果を受けて、一時的に買い戻される可能性もありますが、遅かれ早かれ、一度1.28付近までの下落は避けられないかもしれません。

ユーロ円も、136円を大きく割りこんだ場合には、132円付近までの下落を、想定する必要があるそうです。

ユーロ円の予想レンジは132円から138円です。

ポンドは先週、ポンドドルが1.63付近まで大きく下落しています。ここで下げどまれるかどうか、大きなポイントとなりそうです。

ポンド円は171円を大きく割り込まなければ、しばらくレンジ的な動きとなる可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは171円から174円です。

今週は、ドル高トレンドの一時的な収束に向かうのか、それともドル高トレンドは続くのか、  
今後を占う上で、大きなポイントとなる週となりそうです。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。